

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年 2月 28日

( 26人中 22人 回答 )

事業所名： こども通所サービス にじいろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準に基づいた広さが確保されている。	はい…18 どちらともいえない…4 ・安全に活動できるスペースを確保されていると思う。 ・もう少し広ければ良いと思う。	安全に活動出来るようにスペースの確保を工夫していく。
	2 職員の適切な配置	利用状況に応じて職員を増やし配慮した配置ができています。	はい…22 ・先生の人数も多く手厚く支援してもらっています。専門性、人柄も良い。 ・どんどん改善して頂いているので安心と期待と感謝をしている。	適切な人員配置となるよう今後も対応する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	常に利用者の立場になって考え、数字やイラストをわかりやすく表示する等の見直しを心がけている。	はい…20 わからない…2 ・視覚支援を取り入れわかりやすく過ごしやすい環境だと思う。	特性に配慮し、指示が通りやすい工夫を続ける。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	感染症に係る兵庫県の対応方針に従い感染対策の徹底に努めている。室内は毎日の掃除に加えて、玩具の消毒を行っている。	はい…22 ・いつも清潔で子ども達が安心して活動できる空間が作られている。 ・楽しく過ごしています。	感染症予防、まん延防止のため研修を実施し、引き続き清掃、消毒等、衛生管理の徹底に心を掛ける。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティング中、職員間で意見交換を行い、情報共有や目標設定の見直しを行っている。	/	職員間で目標を共有し、振り返りを徹底する。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	特別支援学校の元校長、当法人の理事、社労士等からの意見や小中学校、病院等からの評価を活用している。	/	今後も様々な機関と連携していき、外部評価を受けるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員の積極的な各研修会への参加。他の事業所とのネットワーク会議(あまっこ部会)にも参加する。	/	支援に必要な研修会、専門家による事例検討会を実施して、職員の資質向上に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者と面談を行い本人、家族のニーズ、困り事を聞き取る。その後、職員間でも話し合い適切な支援計画を作成している。	はい…22 ・保護者への聞き取りや子どもの特性を理解しその上で課題を考え作成してもらっています。	保護者の主訴を大切にし、子どもに関わる複数の支援者の意見を基にした計画となるよう努める。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どものその日の体調や発達に応じた個別活動と集団活動を取り入れ計画を作成するように努めている。		今後も子どもの状況に応じた個別や集団による支援計画を作成していく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	それぞれの特性や行動に応じた到着目標に対して具体的な支援内容を記載している。	はい…22 ・苦手なところや特性などをよく見て下さり具体的に支援内容を考えていただいています。	変更など必要であれば会議を行い、設定の見直しをし、今後も具体的な支援内容を記載していく。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援に関わる職員が個々の支援計画を理解し実施している。	はい…22 ・計画に沿った支援をしていただいています。	今後も職員間で計画を確認しながら、適切な支援に努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	チームリーダーのみが立案するのではなく、職員それぞれ得意分野でアイデアを出し合いながら立案している。		今後も職員全員がプログラムの立案・企画・準備に携わっていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇では、いつもより早く通所する子どももいるため、時間の区切りをつけ行動することを意識させている。		区切りをつけて行動することで目標を明確に意識させて活動していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもの興味・関心に合わせ、活動プログラムを見直している。	・はい…20 どちらともいえない…1 わからない…1 ・毎回様々な経験を積ませてもらっています。 ・子どもたちが飽きることなくいろんな制作や歌などのプログラムを組まれています。	手先を使う、身体を動かす、季節の行事を取り入れる等、支援目標を踏まえた活動を工夫していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、活動前にミーティングを行いその日のスケジュール、活動内容とねらいを確認し意識共有に努めている。	今後も戸外活動の場所、子どもの体調などの確認をし職員の役割分担を徹底し、支援内容の周知を徹底する。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日活動終了後、支援の振り返りを行い日報に記録し反省点、改善点等、周知に努めている。	今後も毎回、職員間で活動を振り返り、共通理解を図っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日の支援記録は日報に残し、改善点をその日のうちに話し合っている。	日々の支援の検証、改善に今後も努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に面談やモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	今後も適切にモニタリングを行い支援計画の見直しに繋げていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当主任や、児発管が積極的に支援者会議に出席している。	これからも他の事業所や行政との支援者会議に参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、該当者なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、該当者なし	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園や小学校に行き、子どもの情報共有を行なっている。	今後も諸機関と情報の共有を図っていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携(続き)	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	必要があれば支援内容、情報を丁寧に伝えている。		今後もよい支援移行が出来るように情報収集に努める。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	事業所主催の小児科医師、支援学校元校長との事例検討会や、あこや学園、たじかの園等の見学、研修には必ず参加している。		今後もいろいろな研修を実施し参加する。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	幼稚園の解放プログラムに参加し地域のお子さんと交流したり、戸外遊び時、地域の幼稚園の園庭を利用し園児と交流できる機会を作っている。	はい…12 いいえ…3 わからない…7 ・地域の幼稚園との交流を持たせていただいています。NPO法人やんちゃんこ主催の夏まつりや運動会などのイベントに参加し、交流しています。	放課後等デイサービスでも交流できる機会を作りたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	絵本読み聞かせの地域グループの方に来ていただき季節の読み聞かせ会を開催している。		今後も地域の方に来ていただく機会を作りたい。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に管理者が重要事項説明書で説明を行っている。	はい…21 どちらともいえない…1 ・契約時に説明を受けています。	今後も保護者にきちんと明確に説明するように努める。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者に対し、短期目標・長期目標を具体的に提示し、支援内容についての確認を随時行っている。	はい…22 ・面談をして毎回丁寧な説明を受けています。	子どもの実態・成長過程を重視して丁寧な説明に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニング講座(基本編、応用編)を実施している。 虹色カフェでは、小児科医など専門家による勉強会を開催し保護者の対応力の向上、支援を図っている。	はい…20 どちらともいえない…1 わからない…1 ・講演会やペアトレ等、定期的を開催してください。	今後もニーズに沿った講座や勉強会を計画していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送り迎えの時に学校や家庭での様子を聞き、また事業所での子どもの状況を伝えている。	はい…21 わからない…1 ・送り迎え時にいつも先生にその日の様子などを伝えていただいています。	今後も保護者との共通理解を徹底していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの相談には随時対応して助言し、必要があれば関係機関につなげている。	はい…22 できています。 ・送迎の際に相談などあれば直接話を聞いてもらう環境に感謝している。	今後も引き続き継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援(続き)	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会(就園前保護者対象、就学前保護者対象、全体保護者会)を開催し、支援者や保護者同士の繋がりを図っている。	はい…18 わからない…4 ・定期的に参加させていただいています。手厚いです。	保護者のニーズを踏まえて開催していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口を設置している。	はい…20 わからない…2 ・苦情はありません。 ・もしその様なことがあったとしても適切に対応していただけると考えるような事業所です。	保護者が話しやすい環境整備に努める。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に合わせてイラストや写真を使ってわかりやすく視覚支援をしている。	はい…21 わからない…1 ・連絡帳や送迎時に連絡や情報伝達をさせていただいています。 ・お迎え時に毎回お話があります。	それぞれの障害に対応できるように心がける。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	HPの活用、お迎えに来られた時に手紙を配布して、説明をしている。	はい…14 わからない…8 ・HPや室内の掲示板、配布物や口頭でお知らせいただいています。	手紙だけではなく、HPの活用や利用も今後、工夫・検討する。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の使用、提供について書類で説明し同意を得ている。書類等は鍵付き書庫にて保管。職員全員に徹底している。	はい…20 わからない…2 ・しっかり管理されていると思います。	今後も十分に徹底する。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成している。不審者侵入時等の緊急時や、感染症予防の研修を実施している。	はい…19 どちらともいえない…1 わからない…2 ・契約時に避難場所等の説明を受けています。またコロナ禍の欠席基準も書面でいただいています。	緊急時マニュアルは利用者もいつでも確認できるように掲示する。感染症対策委員会を設置し、研修や訓練を行っている。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火災、地震津波の避難訓練を定期的を実施し、避難経路、手順、避難持ち出し袋の点検をしている。	はい…16 わからない…6 ・定期的に不審者訓練など子どもを含めて行われています。	これからも定期的の実施し、職員の役割確認を徹底する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止委員会を設置し研修を行い職員の意識の向上を図る。		今後も職員の意識向上を図る。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応(続き)	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者に十分説明している。	今後も職員間で共通理解を図る。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者からの申し入れがあれば、医師からの診断書を提出してもらい対応し、職員間で共有を徹底する。	職員で情報を共有し、アレルギー対応には責任を持って対処する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット報告書を作成しその都度、職員間で話し合い、発生の変因を分析し、再発防止に努めている。	常に意識を持つように周知徹底し未然防止に努める。
利用者の満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	はい…19 どちらともいえない…3 <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしています。</li> <li>・「先生みんな大好き」と楽しく通所している。</li> <li>・にじいろの日はいつもより寝起きがよく、とても楽しみにしています。</li> <li>・にじいろのある日はごきげんです。</li> <li>・通所日でなくても行きたがります。</li> </ul>	今後も子ども達にとって、安心して過ごせる場所となるように努める。
	2	事業所の支援に満足しているか	はい…22 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大満足です。</li> <li>・子どもだけでなく親も安心でき、とてもあたたかい事業所です。支援も手厚く大満足です。</li> <li>・保護者と学校のサポートまでできていて助かっています。</li> </ul>	今後も職員の意識向上を図り、子ども達の安全安心を最優先に保護者との共通理解を徹底し、支援の向上に努める。